

対話から



生まれる



私たちは、飯田下伊那の子供たちや地域社会のために力を尽くしている方々を少しでも支えたいと願って、様々な事業に取り組んでまいりました。このリーフレットには、その歩みがまとめて記されています。この1年間、それぞれの場面で、その人ならではの新たな学びが生まれていたのだとあらためて感じました。それらが何らかの形で、生きて働いていくものになっていると、大変嬉しく思います。今年度を振り返り、これからも、全ての皆様への感謝とリスペクトの念を持ちながら共に歩いていく決意を新たにしています。

南信教育事務所飯田事務所長 細江洋司

多様な人々が協働し幸せに暮らせる社会を目指して

何のために何を目標しているのかを地域と学校が一体となって話し合い、進めていく。

当事者意識をもつ大人になりたい

コミュニティスクール推進学社連携・協働意見交換会 講演・GW

「平成の文明開化（コミュニティスクール）の現状と展望」 7/5

～地域・学校のエージェンシーを重視した改革～

信州大学教職大学院特任教授 山浦貞一 氏

子供たちや地域の皆さんがワクワクするような学校・地域をつくっていくために、関係者がつながり、協働していきたいですね。



「わからないよ、でも、わかりたいと思っているよ」と伝えることの大切さ

南信地区放課後子ども研修会 講演・GW 6/6

「多様な子どもたちへの 多様なアプローチ」
～子供も大人も安心できる場づくりのために～

信州大学学術研究院教育学系准教授 茅野理恵 氏
「なぜこの子はこうなんだろう？」と理解できずにいた子たちの背景にある可能性に気づくことができました。

大人も学ぼう

PTA 活動支援

・PTA 学習会

講演「PTA のこれまでとこれから」(義務)

「こどもの SOS の受け止め方」(高校)

地域と学校の連携

学級 PTA や親子レクの内容、進め方等の共有
情報交換 等

※出前講座も随時受け付けています

地域と学校がつながるコーディネート

飯伊地区コミュニティスクールコーディネーター研修会 11/21

講演・模擬体験「熟議ってなんだ？」

～必要なのは強いリーダーか、あるいは対話と共感か～

長野大学 社会福祉学部 社会福祉学科

教授 早坂淳 氏

熟議のポイントを知り、参加者同士で話し合う中で、支援から連携、そして協働へ進んでいくことの大切さを学ぶことができました。



大人が「つながり」「有用感」「自律」をもって幸せに生きること

学校・社会人権教育連絡協議会

・「忘れられない人々」

元長野県国際化協会(ANPI)日本語学習主任コーディネーター 塩澤正男 氏

・「こどもの“幸せ”と大人の“責任”」

長野大学社会福祉学部 社会福祉学科 教授 早坂 淳 氏

「大人こそ幸せに生き、つながる」ことが、子供の人権を守るための大人の責任であるというメッセージをいただきました。

スポーツを通してつながる 楽しむ 地域・学校に

様々な職業の人々が集い、つながり、一緒に楽しむ機会に。

生涯
スポーツ
振興

温かい雰囲気をつくり出す 言葉や行動を意図的に

第1回スポーツ活動指導者講習会 6/15

楽しみながら「多様な動きづくり」と
「人間関係・チーム・学級づくり」

県総合教育センター専門主事 目黒健太 氏



対話をしながらテーピングを 見学・体験して効果を実感

第2回スポーツ活動指導者講習会 8/18

「見て学ぼう 巻いて学ぼう」

テーピングによる応急手当」

飯伊地区柔道整復師会 飯伊接骨院トレーナーズ 協会



意識させるポイントや動き と技の繋がりを大切にする

第3回スポーツ活動指導者講習会 10/27

「器械運動」を効果的に安全に指導する

かざこし体操クラブ



教職員 研修事業

「対話」する中で広がり深まっていく

仲間や講師と「対話」することを通して、自分たちで納得できる答えに迫る。
リフレッシュし、新たな気持ちで授業を構想することができる。

話をすることで新たな視点にたくさん気づく

教師力ちょっとアップ研修会 年5回実施、主に臨時的任用職員が対象 のべ79名参加

授業づくりや学級づくり、人間関係づくりなどを学び、参加者同士の仲間づくりもできる
「対話」を大切にしたい研修会です。

- ・悩んでいるのは私だけではないと感じ、これからの授業づくりも頑張っていきたいと思います。自然と話しができて今まで参加してきた中で一番充実しました。
- ・自分が思っているよりも頑張っているんだということに気づき、心が少し軽くなりました。



授業での子供の姿を 職員室でたくさん話したい

研究主任研修会 年3回実施 のべ175名参加

- ・まずは、自分が一番に感じている課題や難しさにむけて、チームで取り組み、さらに学校全体の学習への取組や授業の実践力を高めていきたいと思いました。
- ・そもそもの研究体制を見直すことや、日々の研究会で何に時間を割くかを考える。といった点で今後取り組んでみたいことが見つかりました。

子供に寄り添い、 「できた」「わかった」を 実感できる授業を

初任者研修会 下伊那地区45名

声がけひとつで変わることが多いと感じました。
その子にとっての発達段階を見極め、時には根気よく見守ったり、長い目で見てあげたりすることが大切だと感じました。

子供の自立のための安心できる「居場所」づくりを目指して

その子にとって今何が必要で、どういう場を用意したり紹介したりするかを大切にしたい。

自立支援 事業

「自己肯定感の向上」と「真の自己決定」がエネルギーになる

7/29

不登校支援について考える研修会

【テーマ】

「子供の社会的自立に向けて大切にしたいこと」

【シンポジスト】

高森町教育委員会	教育支援指導主事	齊藤 辰幸 氏
下條村教育委員会	第三の居場所マネージャー	熊谷 力 氏
スクールソーシャルワーカー		矢澤 朗子 氏

シンポジストの皆さんから、「自己肯定感の向上は、自立のためのエネルギー」、「真の『自己決定』がプラスのエネルギーにつながる」、「子供は『頼り上手』になること、支援者は『自分を知ること』が大切」という言葉をいただきました。



- ・今回の研修を聞き、改めて「自己決定」を大切にさせてあげたいと考え方が少し変わりました。



子供の自立を目指す 「ほっこり相談会」

10/28

11/11

個別高校進学相談会

2日間で192の進学相談がありました。

- ・これからの進路決定に生かせる有意義な話を聞けて良かったです。(保護者)
- ・自分のこれからの生活に自信が持てたし、今後どう過ごしていけば良いのかわかり、がんばろうと思えました。(生徒)

地域・学校と共に歩む 飯田事務所独自事業

子供たちが主体となる食育の実践～食に関わる方とのつながりを通して～

栄養教諭・学校栄養職員授業づくり研修会

6/14

「食と教科を結ぶ」「地域とつながる食育の実践から」と題し、2名の先生に実践事例を発表していただきました。給食を提供する学校の先生や食材を提供して下さる生産者と対話を重ねながら、授業コラボ給食や食育実践をつなげていく給食の様子を学びました。また、各施設で活用している掲示物を持ち寄り、参加者で情報交換しました。



支援員として働く上での基盤の部分学ぶことができました

教育支援員スキルアップ研修会

7/24

事例を通して、子供とのよりよい関係づくりについて支援員同士で考えました。“困る子”から“困っている子”という発想を持つことや、思い込みに縛られず、新しい視点や捉え方を大切にしたいという声が聞かれました。

また、その後の情報交換は他校の先生と話ができる貴重な機会です、互いに学ぶことが多く気持ちも前向きになる時間になりました。



先輩の先生から学ぶ「養護教諭として大切にしていきたいこと～観～」

養護教員基礎力向上研修会

6/7

経験年数5年程度までの養護教諭を中心とした研修会。先輩の先生からの話を聞いた後、グループごと情報交換をしました。グループには先輩も入って、取り組みや課題、悩みなどを語り合いました。



「赤門スクール」飯田下伊那の学び

講師から語られる 魅力的で奥深い学びの世界
知らなかった世界と出会う 学びの楽しさと出会う

増えている鳥、減っている鳥 ～30年でどう変わった？～

【第1回】 桐生 尊義 氏
(飯田市教育委員会)

7/11



殿と歩く江戸 ～大名屋敷、そぞろ歩きのコツ～

【第2回】 青木 隆幸 氏
(長野県立歴史館名誉学芸員)

8/23



棕鳩十と読書運動 ～その真のねらい～

【第3回】 菅沼 利光 氏
(前棕鳩十記念館館長)

10/4



山村書院の出版と支えた人びと ～飯田下伊那の出版の広がり～

【第4回】 伊坪 達郎 氏
(飯田市歴史研究所所長・下伊那誌編集委員長)

12/6

